

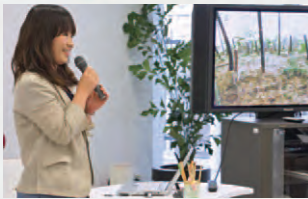


コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)は、大学の理念「違いを共に生きる」に込められた思いを受け継ぎ、「地域に根ざし、世界に開く」という姿勢で教育・支援を行っています。「文化」「世代」「地域」「社会」「環境」を舞台に、学生が地域の様々な人と幅広い活動に励み、自己を成長させる生きた学びが得られるようにサポートしています。以下、2012年度の活動の一部を報告します。

CCC環境サロン

今年度、CCCでは、全4回シリーズの環境サロンを開催しています。身近な「なごや・あいちの環境問題」から「地球規模の環境問題」を学ぶことで、持続可能な地球社会をどう創ってイけるかを考えました。

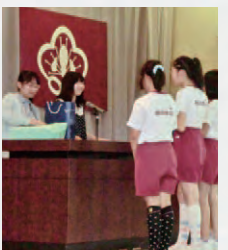
- 【参加学生の声】
- ・愛知県の取り組み、そして私が住んでいる知多半島の取り組みを伺い、グリーンベルトなど、自分の目で見に行こうと思いました。将来小学校の教員になった時に子どもたちと考えたいです。」
 - ・環境のための取り組みで様々なことに挑戦している方々がとても印象に残りました。一人でも多くの人に共感してもらえる場づくりの重要性がよくわかりました。」
- 第1回「あいちの今！愛知県の環境って、どうなっているの？」
- 第2回「Mottainai！規格外の野菜がスイートンと変身！」
- 第3回「世界の環境ってどうなっているの？」
- 第4回「伝統はたちどまらない！山と森と人でひとねる味噌」



チャレンジファンド

CCCでは、学生の社会貢献活動を助成する「チャレンジファンド」を設けています。各学生グループが自ら企画した活動内容を公開コンペでプレゼンテーションし、そのプレゼンを受け、地域のニーズに応える活動や、社会的に意義の高い活動に対して資金面での応援をしています。

今年度は11団体が採択され、子どもの教育サポート、国際協力、農を通した食育など、各団体が独自の活動を展開しています。



■ Messenger
星ヶ丘小学校の子どもにお気に入りの本を紹介してもらい、その本と紹介メッセージを福島第四小学校の子どもたちに届けました。



■ Re:Textbooks
使い終わった教科書を回収、販売し、その利益を途上国の学習支援として寄付する活動をしています。

学生の実践力を育む「教育」

地域の社会貢献活動に学生が段階的にチャレンジできるよう、地域社会の人々と積極的に関わったり、また地域社会を取り巻く環境やその問題を見出したりと、様々な体験学習ができる授業を開講しています。

コミュニティ・サービスラーニング

- Iまちづくり
長久手市内の小学校に通う子ども達と一緒に、新しくできる長久手北中学校周辺と香流川流域を周り、世界共通のアイコンを使ってグリーンマップを作成しました。
- IV地域福祉
地域での配食ボランティア・グループに加わり、調理や弁当配達など体験しています。ご高齢の方の暮らしぶりやボランティアさんの参加動機など、体験を通して学びました。
- V日本語学習支援
外国にルーツを持つ児童が多く在籍する小学校のトワイライトスクールで、日本語を使ったレクリエーションを企画・実践しました。



学生の自主活動を支える「支援」

■ なごやであそび隊
東日本大震災により、愛知県内に避難してきた子どもたちと保護者の方々と一緒に、名古屋の魅力あふれる場所でもおもしろい遊び場という趣旨で「なごやであそび隊」の活動を行っています。昨年度から継続的に活動し、今年度は、名古屋市東山動物園、トヨタ博物館、大学祭への招待、ブラザー工業株式会社との協働企画を実施するなど、新しい繋がりがもてきました。



■ 介助犬
長久手市の助成を受け、市内の小中学生に介助犬について親しみを持って学んでもらえるよう、一年生向けに介助犬カレッジを作成し、長久手南小学校で介助犬の授業を行いました。障がいについて、介助犬という役割の犬がいることを楽しく学んでもらう、「福祉」と「まちづくり」について共に考えました。

